



12月定例議会

12月定例議会報告	2
議案審議採決結果	3
よりよい町づくりのために！一般質問	4
行政視察研修報告	9
「親の学び」次世代編	10
令和6年度行政視察受入れ状況	10
第68回町村議会議長全国大会	11
研修会報告	11



和水町
NAGOMIMACHI

Vol. 71

議会だより



「親の学び」次世代編の様子 ※詳細はP10をご覧ください。

2025.2.1 発行

12月議会議案審議

採決結果 町長提出議案一覧

議案番号	区 分	議 案 名	審議採決の結果
承認第4号	専決 (補正予算)	専決処分の承認について（令和6年度 和水町一般会計補正予算（第5号））	原案承認
議案第66号	補正予算	令和6年度 和水町一般会計補正予算（第6号）	原案可決
議案第67号	補正予算	令和6年度 和水町国民健康保険事業会計補正予算（第1号）	原案可決
議案第68号	補正予算	令和6年度 和水町介護保険事業会計補正予算（第3号）	原案可決
議案第69号	補正予算	令和6年度 和水町特別養護老人ホーム事業会計補正予算（第3号）	原案可決
議案第70号	補正予算	令和6年度 和水町簡易水道事業会計補正予算（第2号）	原案可決
議案第71号	補正予算	令和6年度 和水町下水道事業会計補正予算（第3号）	原案可決
議案第72号	その他	町道の路線認定について	原案可決
議案第73号	その他	熊本県市町村総合事務組合の共同処理する事務の変更及び規約の一部変更について	原案可決

陳情等の審査結果

受付番号	受付年月日	件 名	審査結果	付託委員会
244	令和6年9月9日	令和7年度理科教育設備整備費等補助金予算計上についてのお願い	配付	
312	令和6年10月28日	学校教材備品の計画的な整備推進についてのお願い	配付	
314	令和6年10月29日	安全・安心の医療・介護実現のため人員増と処遇改善を求める陳情書	配付	
315	令和6年10月29日	政府の責任で医療・介護施設への支援を拡充しすべてのケア労働者の賃上げや人員増を求める陳情書	配付	
316	令和6年10月29日	介護保険制度の抜本改善、介護従事者の処遇改善を求める陳情書	配付	
322	令和6年11月5日	臓器移植に関わる不正取引、非人道性が疑われる国への渡航移植等を防止するための法整備等を求める意見書提出の陳情	配付	

【継続審査分】

受付番号	受付年月日	件 名	審査結果	付託委員会
165	令和6年7月11日	和水町議会政治倫理調査会の運営に関する意見書	採択	議会運営委員会

補 正 予 算：	7件
そ の 他：	2件
計	9件

令和6年度 一般会計補正予算

2億9,382万9千円を追加!!

総額 97億7,733万6千円に

令和6年

12月

定例議会
報告

令和6年12月議会定例会は12月9日から13日までの5日間の会期で開催され、令和6年度補正予算など議案（補正予算7件、その他2件）が上程され、それぞれ可決、承認された。

一般会計補正予算の主な内容

課	事 業 名	補正金額	内 容
総務課	消防団運営等経費	830千円	女性消防団の被服費等
まちづくり課	企画事務経費	200,200千円	和水町ふるさと応援寄付金基金から和水町子育て支援基金（令和5年度分）へ積み立て
	三加和温泉施設等管理運営事業経費	1,261千円	緑彩館の厨房設置エアコンの更新工事請負費
	肥後民家村施設等管理運営事業経費	1,056千円	肥後民家村に設置の火災受信機が落雷により故障したため取替修繕に係る修繕料
農林振興課	担い手育成総合支援事業 有害鳥獣被害対策事業	1,500千円 7,972千円	新規就農者に対する就農直後の経営確立への支援 和水町有害鳥獣捕獲対策協議会に替わり、町が事業費を負担金として一時立て替え

特別会計補正予算

会計名	補正額	補正後の額
国民健康保険事業会計	1,050千円	1,317,238千円
介護保険事業会計	38,553千円	1,520,030千円
特別養護老人ホーム事業会計	666千円	667,320千円

公営企業会計補正予算

会計名			補正額	補正後の額
簡易水道事業会計	収益的	収入	2,000千円	82,303千円
		支出	3,606千円	80,658千円
	資本的	収入	△2,000千円	73,132千円
		支出	0千円	85,830千円
下水道事業会計	収益的	収入	3,500千円	210,955千円
		支出	2,677千円	209,242千円
	資本的	収入	△3,500千円	100,896千円
		支出	0千円	131,538千円



笹淵 賢吾 議員

「みどりの食料システム法」の取り組みについて

笹淵 みどりの食料システム法に基づく取り組みの進捗状況は。

町長 「みどりの食料システム法は環境と調和のとれた食料システムを確立し、産業の事業持続的な発展を目指すため令和4年に制定され、環境にやさしい農業に取り組むことで持続可能な食糧生産体制の構築を目指すために令和3年に農林水産省が策定したみどりの食料戦略を実現するための法律となっている。みどりの食料システム法の実現のため本年8月に和水町有機農業等推進協議会を設立し有機農業等の取り組みについて検討を進めている。

笹淵 町有機農業等推進協議会として50年以上前から有機農業を行っている宮崎県綾町の有機農業を研修した。綾町の特徴は①町が有機JAS認証制度の登録認証機関になっていること。②農業機械を農家に貸し出していること。新規就農者や会

社を退職した人も機械を借りて農業をやりやすくなっている。③農業を始める人がオーガニックスクールで2年間学べるようになってきていること。④土壌検査ができる有機農業開発センターの施設があり、農地の土壌を分析していること。⑤堆肥製造施設を整備し良質堆肥の供給を行っていること。和水町は、新規就農者の年間確保目標を6人としているが、達成するためにも、竹粉碎機のように農業機械を購入し貸し出す事業を行って委はどうか。財源は財政調整基金やふるさと納税を充ててはどうか。

農業振興課長 農業機械の貸し出しについては勉強させていただきたい。

その他の質問

町民の声や願いが町政に届く仕組みづくりはどうなっているか

小中学校で農業と食についてどう学んで受け止めているか



秋丸 要一 議員

町民の声が行政に届く町づくりが必要！各校区ごとに町政懇談会を計画する！！

【町行財政運営について】
秋丸 消滅可能性自治体の公表を受け、プロジェクトチームが脱却のため、これまでになされた政策協議の内容等について。

町長 令和7年度から取り組んでいきたい事業について、0歳児から2歳児までの保育料の無償化、家庭保育応援事業、高校生の通学費補助事業、奨学金事業の見直しなどの子育て支援について検討を行っている。

秋丸 私が提案した小中学校の修学旅行費の助成、条件付きで奨学金の返還免除制度そして住居購入費用を補助。住宅新築で上限500万円、中古で100万円を交付する。この3点について令和7年度の事業展開として考えているか。

町長 現段階では、発言は控える。精査を行っている。

【町長公約事業について】

①コミュニティバス導入について

秋丸 なぜコミュニティバスが必要なのか。

町長 コミュニティバスによって本庁と支所を結ぶ縦のラインをつながたいと掲げた。

②公園整備について

秋丸 整備計画に対して、子育て世代の9名の方々からどのような反応やご意見があったか。

まちづくり課長 安心安全に利用できる公園。ゆつくり過ごせるベンチを設置してほしい。一般的な遊具等の設置を希望する。

③信頼される役場づくりについて

秋丸 町長公約の座談会開催実績とその内容は。

まちづくり課長 いままでに2回開催している。

秋丸 座談会実施要綱では、町民の要請があれば対応することになっているが、町長自ら座談会を主導するあり方が、望ましいのではないかと思うが町長の見解は。

町長 各校区ごとに町政懇談会を計画するようにする。

秋丸 先般、視察研修を行った2つの町では、住民を巻き込んだ町づくりを目指している。もっと町民の意見を汲み取る努力が必要ではないのか。

町長 町民の皆様の声が、行政に届く仕組みというものを考えていく必要がある。また、地域の皆様と行政、そして議会のご意見が集められる行政組織になっていく必要があると考える。

令和6年12月定例会 一般質問

12月定例会では8名の議員が一般質問を行いました。主な質問項目は次のとおりです。お手持ちのスマートフォン等でQRコードを読み込むと、動画をご視聴いただけます。

笹淵 賢吾	1 町政運営について 2 農業振興について 3 食育の取り組みについて	
秋丸 要一	1 町行財政運営について 2 町長公約について	
坂本 敏彦	1 農林業の振興について	
千々岩 繁	1 社会教育について	
齊木 幸男	1 学校跡地の活用について 2 防災について 3 DX(デジタルトランスフォーメーション)の活用について 4 公民館図書室について	
亀崎 清貴	1 安全・安心な町づくりについて	
荒木 宏太	1 住民自治について 2 学校跡地活用事業について 3 防犯対策や有害鳥獣について	
木原 泰代	1 本町の生活習慣病予防対策の推進体制について 2 本町の学校給食について	

議会傍聴をお待ちしています!

定例会は、原則として3月・6月・9月・12月に開催され、行政に対する一般質問などが行われます。

定例会日程や一般質問等の詳細は、町のホームページ、議会事務局にお尋ねください。

役場本庁1階ロビー、支所ロビー、中央公民館、三加和公民館でも生中継でご覧になれます。





斉木 幸男議員

旧南小学校跡地の活用は・避難所までの交通手段は DX活用で観光客誘致は・歴史民俗資料館のホームページ開設は 公民館図書室の電子図書利用は

斉木 旧南小学校跡地の活用は。

町長 当該企業より事業開始を3年延長する協議依頼書の明示があり、町は適当であると認めた。

斉木 事業開始の3年の期日が来るのであと3年延ばす。工場稼働までの期間が2倍になったわけだ。こういうときは一旦契約通り白紙に戻し、学校を返してもら



旧南小学校。令和10年1月工場稼働予定。

い、再度プロポーザルをして事業者を募るべきでは。当該企業が事業をしたいなら再度申し込みれば約束の期日は守られるのでは。3年後に当該企業が事業を開始する根拠や納得のある説明は。

まちづくり課長 契約内容と照合し判断した。

斉木 土地の管理。地元区長4人の要望書は。

町長 当該企業に、一層留意するよう指導していきたい。

斉木 町民に避難所までの交通手段の説明は。

総務課長 周知等はこれから先も行っていく。

斉木 町のホームページの閲覧数は。

町長 令和4年・5年は1,900万件で推移。

斉木 町のYouTube動画の収益化調査は。

まちづくり課長 新たな財源確保として調査研究していく。

斉木 歴史民俗資料館のホームページ開設は。

社会教育課長 検討課題として受け止める。

斉木 気軽に公民館図書室を利用するには。

町長 町内の小中学生全員に利用者カード(電子図書ID付き)を配布した。

教育長 町内の電子図書の登録者は一般805人・7歳から15歳までが613人になった。



亀崎 清貴議員

住民が安心して暮らせる社会を実現するために「防犯カメラ」の設置を!! 消防団員の待遇改善としてすべての団員に「活動服」を!!

亀崎 令和4年の一般質問時にも、防犯面に限らず行方不明者の発生等に迅速に対応する手だてとして、

防犯カメラを各行政区公民館、消防団の詰所等に設置できないかと考えるが如何か。

総務課長 今年度防犯カメラを10基設置し、様子を見ていきたい。

亀崎 犯罪被害者等基本法第22条には、民間団体に対する援助というものがうたがっている。民間事業者へ一定程度の防犯カメラの設置補助が出来ないか。

総務課長 まちづくり総合計画にも、防犯の推進について前向きに検討すると記載されている。検討したいと思う。

亀崎 令和4年9月定例会の一般質問において、消防団の在り方について団員数の減少を食い止める手だてとして、事業所・販売店等が消防団に対して様々なサービス・割引等を提供する消防団の応援制度「クーポン割

引の導入」について質問したが、その後の状況を伺う。

総務課長 実施の検討は、当時の団長・副団長を交えて意見交換会を行ったが、実際に実現するには至っていない。

再度消防団の幹部に諮り検討し、商工会等相談していきたい。

亀崎 夏の火事の現場や行方不明者捜索等で厚手の団服での活動は、熱中症等の健康を害するリスク等も考えられる。

団員の健康管理と待遇改善、組織の一体性の確保の観点から、団員全てに活動服の対応を早急に考えるべきだと思うが、町長の考えを伺う。

町長 快適な活動を行っていただくためには必要な装備であると認識しており、前向きに検討したい。



和水町消防団 活動服



坂本 敏彦議員

農林業の振興について

坂本 近年、有害鳥獣による被害が増加傾向にあるが、駆除数及び報奨金の現状と今後の被害対策について問う。

町長 本年11月末時点で、イノシシ722頭、アナグマ35頭、アライグマ8頭が捕獲されている。報奨金については、イノシシを銃捕獲の場合1頭当たり1万円、わな捕獲の場合7千円。アナグマなど小動物が3千円となっている。

今後の被害対策については、捕獲、防護対策の強化、県の推奨事業でもある「餌付けストップ」をさらに推進していく。

農業振興課長 電気柵等の補助率については、国の補助事業9割、町の単独事業3割となっている。国の定める耐用年数は、電気柵8年、ワイヤーメッシュ柵14年となっている。町の基準も同様であり、補助事業での申請は可能である。

坂本 昨年度、森林環境譲与税により竹粉碎機

を導入してあるが、利用料及び利用状況と森林環境譲与税を今後どのように活用するか問う。

町長 竹粉碎機の利用料は1日当たり3千円。

利用状況は、令和5年度9件の貸出、延べ18日利用されている。今後の森林環境譲与税の活用は、森林所有者に対する意向調査や作業集約化に向けた取組を行い、森林整備事業を継続して実施する。

坂本 和水町の農業従事者が高齢化により今後も減少してくると思われ耕作放棄地の増加も懸念される。今後も和水町の農畜産業を維持していくために、どのような対策を講じていくか問う。

町長 今後の支援策として、地域農業の中心となる認定農業者や営農組合の経営安定を図るため、令和7年度から町の農業機械補助事業の補助率を引き上げるよう検討している。



えづけSTOP！



千々岩 繁議員

休日部活動の地域移行、 スポーツ推進計画の現状について

千々岩 部活動検討委員会において、休日部活動の基本的な方針について。

社会教育課長 ①運営体制

を整備し、休日部活動を段階的に地域移行すること。②生徒の、発育、発達に応じたスポーツ・文化活動を行うこと。

③指導者の資質向上とスポーツと文化活動の環境整備を図ること。

千々岩 生徒のニーズに合った活動を模索する必要もあると思うが。

社会教育課長 地域クラブ活動運営協議会で協議をしたい。

千々岩 今後の地域移行の在り方について。

教育長 地域クラブ活動運営協議会の中に推進部と普及部をつくり、推進部は休日部活動の地域クラブ活動の移行促進をする。普及部は、地域クラブ活

動を拡充するため、例えばクラブなごみ、町文化協会、スポーツ協会等と連携するようなイメージをしている。

千々岩 地域移行への体制が整っている部活動はどれくらいあるか。

教育長 菊水中では、全部で6つの部活動がある。そのうち3つが地域移行している。

女子バレー部・野球部・吹奏楽部については、まだ外部指導者との折り合いがつかず、移行が進んでいない。

千々岩 第2期スポーツ推進計画の策定の中で、老若男女、健康者も障がいがある方もスポーツをする機会があると思うが、eスポーツを導入する考えはないか。

社会教育課長 社会福祉協議会で、年に1、2回ほど行われている。非常に好評だったので、検討委員会で諮っていきたい。

行政視察研修報告

視察研修報告

議会運営委員長 竹下 周三

令和6年11月6日～8日、議員10名、議会事務局2名の計12名で議会による研修を実施した。

1. 島根県 邑南町

島根県中央部の山間にある自然豊かな町で、人口9,500名、面積419km²で人口減少と高齢化により、集落活動の維持が難しくなることから、自治会の統合を進め、住民全体の地域運営組織づくりを進めている。

邑南町では、以前は215の集落があり、複数集落で構成する39の自治会が平成17年の合併時に設立された。更に、再編を進め12の旧町村毎に全住民参加による地域運営組織へと再編を目指している。

※住民参加によって合意形成が出来、地域の課題解決に取り組みやすい仕組み(町の支援体制の整備、人的・財政的支援)が確実に構築されていた。



2. 鳥取県 智頭町

山林93%の山間地であり、人口6,100名、面積225km²、集落は88、地区は6区である。27年前に「日本1/0(ゼロ分のイチ)村おこし運動」を実施して、交流・住民自治・地域運営を柱とする住民主役のまちづくりを契機に住民自治組織が設立され、地域の特性を生かした村づくりを実践。15年前、住民で組織する「百人委員会」が設置され、課題解決を推進されている。

○日本1/0村おこし運動

旧三加和地区の八つの里づくり構想の土台となり、今も尚、継承されている活動の見本となった地域おこし活動である。

○特定地域づくり事業協同組合

9社で出資設立して、労働者派遣を可能とする事業。人手不足に悩む事業者に、組合を通して派遣するシステムを一早く取り入れられた。和水町においては、農繁期に集中的に人手不足が生じている事を考えれば、大いに参考になる事業である。

○疎開保険

災害時の一時避難場所として、智頭町に避難できるシステムを構築し、農産品の提供等で繋がりを深めていた。和水町のふるさと納税と併せて近隣地域の住民との関わりにおいては大いに参考になる。



3. 鳥取県 八頭町

鳥取市に隣接し、人口15,500人、面積207km²、高齢化率36%の町で、廃校跡の利活用について、計画・準備段階から住民参加型で協議された。

町では1.8億円かけ、廃校舎をコミュニティ複合施設「隼Lab.」へ改修。民間へ無償にて貸与し、運営・管理は銀行他6社で行っている。1Fはコミュニティ施設、カフェ、集いの場、訪問看護施設、2Fはコワーキングスペース、3Fはシェアオフィスとして40社余りが入居している。

和水町における廃校跡地有効的活用の指針には大変参考になった。特にシェアオフィスについては興味を持った。今回の研修を今後の和水町の運営に活かしていきたい。



八頭町コミュニティ複合施設「隼Lab.」

よりよい町づくりのために!

一般質問



荒木 宏太議員

旧南小学校跡地活用事業は3年間延長 南校区の町民の皆さんのお気持ちは

荒木 住民の方からは草刈りの管理問題、避難所の問題、グラウンドゴルフの利用、3年の期限内に事業が不可能であれば、地元に説明をしてほしい。との要望、意見をどう思われるか。

町長 契約書上は令和4年1月17日付けで契約を交わしている。その時点において、避難所等のお話、地元説明は完了した上で進められている。

令和6年になって御意見をいただいたことは、町の進め方、町民の皆様に対して説明が足りていなかったと認識する。

まちづくり課長 南校区の区長から提出された要望書には、買戻してほしいとの明記は無かった。説明は3月の初寄りの時期で問題ない。期限延長に関しては、特段意見は無い。敷地内の管理をして欲しいという意見が出ている。



木原 泰代議員

和水町の生活習慣病対策の推進体制について

木原 健康なごみ21計画、保健事業実施計画の実現に向けた推進体制は。

町長 関係課と連携しながら、健診受診率の向上、的確な保健指導を継続し、生活習慣病重症化を予防している。計画実現には、若い世代の受診率向上や生活習慣病予備軍者への指導も重要で、更なる推進が必要。

木原 特定健診の受診率と保健指導実施状況は。
住民環境課長 令和5年度の特定健診の受診率は65%と県下上位。40代、50代の受診率は50.9%。若い世代の受診率向上に向けてあらゆる機会を捉え推進したい。保健指導対象者の78%は指導ができている。

木原 保健指導を行う専門職の過不足はないか。
住民環境課長 専門職の不足はないが、より多くの保健指導の実践が重要。今後も質の高い保健指導ができる体制整備を検討し整えていく。

荒木 全員協議会で「所有者移転の日から3年以内に、提案書で提案した事業を開始しなければならない。

ただし、災害等により3年以内に事業が開始出来ないときは、事前に甲に報告し、協議をすること」と説明を受けた。

災害対策基本法において、災害とは暴風、竜巻、豪雨、豪雪、洪水、崖崩れ、土石流、高潮、地震、津波、噴火、地滑り、その他異常な自然現象または大規模な火事もしくは爆発、その他及ぼす被害程度において、これらに対する政令で定める原因により生ずる被害と表現してあるが、この時の災害的な経済社会という意味に当てはまるのか。

町長 契約書に基づき、災害等というところに該当すると判断している、全員協議会で説明のとおり、3年間の延長を認めて、このまま進めていく。

木原 人工透析開始を遅らせる取り組みの成果は。

住民環境課長 健診結果でeGFR30未満の方を対象に保健指導を実施している。実施者の人工透析開始者は少なく、透析開始期間の延伸もできており、健康寿命の延伸や医療費の抑制につながっている。

木原 継続した計画実現のために考えていることは。

保健子ども課長 健診受診率の向上、保健指導対象者と家族を含めた保健指導ができる体制整備を目指したい。

町長 町民一人ひとりが健康に関心を持ち、健康づくりに取り組みやすい環境づくりと町民の健康を支える体制を検討し推進していく。

その他の質問

学校給食の充実に向けて、米飯給食の推進について

第68回町村議会議長全国大会

第68回町村議会議長全国大会が11月13日(水)にNHKホール(東京都)で開催され出席しました。

町村議会議長全国大会では、国に対する要望8項目が採択されました。また、石破総理は来賓挨拶で『「地方の未来を創り、地方を守る」、「地方こそ成長の主演」との考え方に立ち、「産官学金労言の連携」で取り組み、若者・女性に選ばれる地方をどう作るのが重要だ。』と地方創生への熱い思いを約20分にわたり挨拶されました。

また、熊本県選出国議員への要望・意見交換会が全国町村会館で開催され、玉名郡議長会として「有明海沿岸道路の熊本県への延伸」と「矢部谷トンネルと国道443号の整備」の要望書を提出しました。



和水町議会議員研修会報告

令和6年11月18日(月)熊本大学人文社会科学部^{ひろのり}の伊藤洋典教授を講師にお招きし、「議会活性化のために何ができるか」について研修を行なった。

議会は、住民に直結した活動をする存在で、行政とは立ち位置が違う。潜在的な力があることを認識し、住民とどうつながるかを考えていく必要がある。広報活動と住民参加を通じ地域課題の共有を意識した活動を行うことが大切ではないか。

議会活性化のためには、議会基本条例をどう実効的なものにするかが大切で、議員間討議の実現、議会への住民参加をどう進めるか、議会広報をどう活用するか、議員の行為規範をどうするか等全国先進事例を踏まえ課題の提案があった。

議会広報については、本議会、委員会、行政視察等を盛り込み、今何が問題か、どんな課題があるのか等を知らせることが大切である。住民の参画、議会報告会、議会モニター、政策モニター、広報モニター等全国先進事例でその効果等の紹介があった。今の社会は問題が個別化して見えづらくなっているという特徴がある。その問題にどうつながりアプローチしていくかの視点を持つことの重要性も力説された。

現在、当議会は、議会活性化を目指し条例の再検討や広報委員会の先進地研修等を予定している。今回の学びを踏まえ、より活発な議会となるよう議員一丸となって努力をしていきたい。



オンライン研修

令和6年10月9日(水)13時30分より和水町本庁3階大会議室にて熊本県町村議会議長会の議会改革による「議員のなり手不足」打開の道についてオンライン研修が実施されました。講師は大正大学地域創生学部公共政策学科の江藤俊昭^{としあき}教授にご教示いただきました。

令和6年11月29日(金)14時より、地方議会活性化シンポジウム2024「多様な人材が参画する地方議会の実現へのアプローチ～課題への取り組み事例から考える～」が総務省主催で開催されました。

「親の学び」次世代編

熊本県教育委員会は、「くまもと家庭教育支援条例第13条」に基づき、中学生のじりつ(自律・自立)を促し、将来における親としての自覚を高めるため、「親の学び」次世代編実践協力校を指定し、くまもと「親の学び」プログラムの効果的な活用について実践を行う。今年度は、菊水中学校が指定された。詳細については、広報なごみ11月号で紹介されている。

生徒の感想として、大人になったときには、主体性や協調性が重要である。今の自分に出来ることを少しずつ積み重ねていきたい。自分と違った意見を聞くことが出来た等、前向きに将来について考えるきっかけになったのではないかと。

また、三加和中学校でも11月29日(金)に2年生27名を対象として、和水町の良さが10年先も続いていくための課題や変えていくべきことについて、アイスブレイクを行い、「笑顔輝き魅力あふれる和水町」にするために、自分たち出来ること。大人や地域で取り組むこと。行政に



やってほしいこと等について真剣な意見が出た。生徒たちの、和水町に対する郷土愛を強く感じた。少子高齢化で人口減少に歯止めがかからない状況の中で、今後、和水町を担っていく子ども達の意見を行政と共有しながら、和水町に住み続けたいと思えるようなまちづくりを議会としても後押ししなければならないと強く感じた授業であった。

千々岩 繁

令和6年度行政視察受入れ状況

ようこそ和水町へ



視察日	視察団体	視察内容
10月1日(火)	北海道栗山町議会 ^{くりやまちょう}	定住促進(子育て支援)の取り組みについて
10月8日(火)	山形県河北町議会 ^{かほくちょう}	廃校となった旧学校跡地施設の利活用について



10月1日 北海道栗山町議会



10月8日 山形県河北町議会



議会のうごき

ACTION

9月定例会以降の主な行事について報告します。

9月

- 18日(水) ◆ナゴミ夢チャレンジトーク
- 19日(木) ◆和水町金婚等表彰式
- 21日(土) ◆玉名八女線道路整備促進期イベント交流会「八女のまつり」
- 25日(水) ◆和水町金栗四三の生家活性化委員会第3回会議
- 26日(木) ◆2024山太郎祭第1回実行委員会

10月

- 1日(火) ◆北海道栗山町議会視察研修
- 3日(木) ◆広報調査特別委員会
- 4日(金) ◆中華民国113年国慶節祝賀レセプション
- 6日(日) ◆クリーンパークファイブ環境フェスタ
- 8日(火) ◆山形県河北町議会視察研修
- 9日(水) ◆令和6年度第1回熊本県町村議会議員研修会
- 11日(金) ◆玉名郡議定会定例会
◆広報調査特別委員会
- 16日(水) ◆県道玉名立花線等道路開発期成会総会及び要望式
- 18日(金) ◆広報調査特別委員会
- 21日(月) ◆令和6年度第2回せきすい斎苑連絡協議会
- 25日(金) ◆和水町老人クラブ連合会健康福祉祭
- 30日(水) ◆議会運営委員会
◆全員協議会
- 31日(木) ◆和水・玉東町学童陸上記録会
◆一般国道443号県道と仁山鹿線玉名八女線道路整備促進期成会要望会

11月

- 3日(日) ◆金栗四三翁マラソン大会
- 6~8日(水)~(金)
◆議員行政視察研修
- 11日(月) ◆第48回戦国肥後国衆まつり第1回実行委員会
- 12日(火) ◆台湾屏東県九如郷訪問団歓迎式
◆台湾屏東県九如郷訪問団歓迎交流会
- 13日(水) ◆赤坂四川飯店和水町フェア
- 12~14日(火)~(木)
◆第68回町村議会議長全国大会・県関係国会議員への要望式
- 16日(土) ◆廣田彩花後援会総会
- 17日(日) ◆山太郎祭
- 18日(月) ◆議員研修会
- 21日(木) ◆議会運営委員会
- 29日(金) ◆地方議会活性化シンポジウム2024

12月

- 9日(月) ◆令和6年第4回和水町議会定例会

委員長	亀崎 清貴
副委員長	荒木 宏太
委員	笹渕 賢吾
委員	白木 淳
委員	木原 泰代
委員	千々岩 繁

広報委員

広報委員 笹渕賢吾

議会だより表紙を募集しています

和水町の風景やイベントなどの写真を募集しています。和水町の議会だよりは年4回（5月・8月・11月・2月）発行しています。

随時募集しておりますので、皆様のご応募をお待ちしています。

【募集内容】

- ・応募者本人が概ね1年以内に撮影した写真
- ・和水町の町民の方の活躍、日常生活、イベントや季節の風景などの写真

【応募方法】

写真をCDやUSBに保存して持参していただくか、郵送または電子メール

【お問合せ】

☎0968 - 86 - 5729（議会事務局）



編集後記



● 昨年（2024年）の総選挙結果は少数与党政権になり、野党の意見が尊重しないと政権運営が進まない状況になりました。国民の意見や願いが反映できる民主主義の議論が進む国会になり、過疎化や人口減少が続く地方の活性化を期待します。

● また、昨年は日本原水爆被爆者団体協議会が、ノーベル平和賞を受賞しました。昭和20年に広島と長崎に原爆が投下され多くの人が亡くなり被爆し、日本被団協は二度と被爆者を生まないよう全世界に

向けて核兵器廃絶を訴えてきました。世界で紛争や戦争が起き、核大国によって核兵器使用の威嚇が繰り返され、核戦争の危険が高まっていますが、ノーベル平和賞受賞は、世界中の平和を願う人々から喜ばれています。日本も早く核兵器禁止条約に批准し核兵器が廃絶される日が一日も早く実現することを期待します。

● 物価高騰が続く暮らしが厳しくなっていますが、町民の皆さんの声を議会にお寄せいただき町の発展につながる活動を進めていきたいと思います。